

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 新 スーパー・インクワイアリー・ハイスクール (SIH) 事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3677)

教科教育第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3547)

産業教育係 電話番号：058-272-1111 (内 3881)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	11,000	0	0	0	0	0	0	0	11,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

AIやIoT等の急速な発展により社会が激しく変化する中、文系・理系という枠にとらわれず、5つの領域の学び (STEAM教育 = Science、Technology、Engineering、Liberal Arts、Mathematics) を統合して深く探究し、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する取組が必要とされている。

(2) 事業内容

国内外の教育機関や専門性が高い機関、さらに、国際的な企業や地域の関係者など、今まで以上に幅広い外部機関・関係者と連携し、より高度な知見・専門性に基づいて、教科横断的・探究的な学習を実施するため、県立高等学校5校を「スーパー・インクワイアリー・ハイスクール (SIH)」に指定し、「ふるさと教育」を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,057	外部講師謝金
旅費	1,510	外部講師旅費等
消耗品費	1,973	研究活動費
使用料及び賃借料	1,160	バス及び会場借上げ等
備品購入費	5,250	研究機材等
負担金	50	大会参加費
合計	11,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標2 「ふるさと岐阜」を学びふるさと教育の充実

目標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和4年度からの新学習指導要領実施に備え、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための、教科横断的・探究的な教育（STEAM教育）を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
教科横断的・探究的な教育を実施する高校数	未集計 (R1)	(R)	(R)	未集計 (R1)	63 (R5)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	AIやIoT等の急速な発展により社会が激しく変化する中、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	整備されたICT環境により、オンラインで外部機関や他校の生徒と連携するため。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ふるさと教育」を充実・深化し、教科横断的・探究的な教育（STEAM教育）の推進が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新学習指導要領実施に備え、新たに、先導的な取組みを先行実施し、その成果を各高校に反映・展開する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】